



補習校だより

平成26年度 第8号

平成26年5月24日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

古本市

校長 永井 晋

先週、補習校で古本市を行いました。日本の本を手に入れにくいマイアミでは貴重な行事です。朝から普段は朝礼を行っている大きめの部屋を2つに仕切り、子供用の本の部屋と大人用の本の部屋として古本市を行いました。準備と片付けにはPTA役員、運営委員会、保護者ボランティア、高校生ボランティア等多くの人にお手伝いいただきました。古本市が始まると担任に引率され学年ごとに子供が部屋にやってきて本を選びます。本には限りがあるため冊数制限があります。そこで子供なりに厳選しなければなりません。手に入りにくい本の購入以外に、アメリカでは体験しにくい買い物体験も小さな子供にとっては重要です。さらに売り上げは補習校のために使われるという目的もあります。

さて、日本では若者の活字離れが進んでいるといわれています。しかし、全国学校図書館協議会によれば小中学生の1か月の読書数は増えているという結果もあります。また、高校大学と学年が上がるにつれ読書しなくなる傾向も見えます。願わくは子供の頃に読書好きになって、大人になっても本を読む習慣がなくならなければいいと考えます。「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、読書活動の意義は、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」と記されています。普段から日本語に触れる機会の少ない補習校生にとって読書は日本で生活をしている子供よりもっともっと意味のあることです。これを機会に本をたくさん読んでほしいと思います。



来週5月28日にマイアミ総領事館からの依頼で緊急連絡訓練を行います。クラスペアレント経由で連絡が行っているかと存じますが、ご協力をお願いいたします。